

釈迦ヶ岳山行報告

【山行日】2021年5月23日(日) 晴れ一時雨

【集 合】栃木市運動公園P AM 6:00

【費 用】マイカー2台 : 1,400円

【メンバー】CL:鈴木ユ、SL大西 青柳、安西、植竹、石澤、嶋田、島田、関、廣瀬、福島、福田夕、藤原、渡辺

【コースタイム】栃木市運動公園P6:00＝大間々台

P7:10/7:30～八海山神社 8:40/8:50～釈迦ヶ岳

10:40/10:50～八海山神社 12:30/13:05～大間々台

P14:15/14:30＝道の駅「やいた」14:55/15:10＝栃木市運動公園P16:00



高原山に登りたいとリクエストがあり、大間々台から釈迦ヶ岳を計画したが、参加者が14名と人気の山行となった。栃木市運動公園を6時に出発し、大間々台の駐車場に予定通り到着した。



広い駐車場がすでに満車で、係員の誘導でなんとか路肩に止めることが出来た。来週はレンゲツツジの時季を迎え、駐車場が混雑すると予測していたが、今週は大入道へのコースでシロヤシオが見頃で車が多いようである。準備を整えトイレを済ませ、ストレッチを行って出発する。

駐車場から案内標識に従って広い林道を進み、八海山神社の標識から右の山道に入る。明るい自然林の道は、所々丸太の階段が付けられてとても歩き易い。新緑の中にシロヤシオやヤマツ

ツジの花が彩りを添え、皆さんから「シロヤシオの花が見られると思わなかった」と声が聞こえる。

確かに今年は花の時季が早く、ツツジ類は総じて花の当り年のようなのである。段々登りが急になり、岩交じりの道を登るようになると展望が良くなる。岩の急坂を登って行くと、ほどなく八海山神社のピークに着くが祠は倒壊している。ここからの展望

が良く、西側にはこれから登る釈迦ヶ岳が大きく聳えている。休憩を取りグレープフルーツや菓子を食べ、記念写真を撮ったら釈迦ヶ岳に向かう。ここから2班に分かれて行動し、A班12名は釈迦ヶ岳を目指しB班2名は時間で引き返すことにする。一旦下って登り返すと矢板市最高峰のピークで、さらに下って登り返すと剣ヶ峰のピークに着く。ここは大入道への分岐になり、釈迦ヶ岳へは左に急坂を下って行く。シロヤシオの木



が沢山あり、まだつぼみが多いがこれほどあるとは気が付かなかった。芽吹いたばかりのダケカンバの新緑も素晴らしく、この時季ならではの景色に皆さん大満足の様子。

アップダウンを繰り返しながら進むと、アカヤシオの花が残っておりそこで休憩して一息つく。



さらに右側が切れたヤセ尾根を進み、ロープがある急登を登って行くと30名の団体が下って来た。急坂でのすれ違いは難しく、団体に安全な場所で待ってもらい登って行く。

いくつかのロープを使って登り切ると傾斜が緩くなり、鶏頂山からの道と合さると間もなく山頂に着いた。山頂は平坦で広く大勢の登山者が賑わっていたが、西平岳からの登山者が多かったようだ。

とりあえず山頂と釈迦如来像の前で記念写真を撮り、果物や菓子を食べて休憩を取る。

少しガスってきて展望は良くないが、登頂出来た喜びで笑顔が溢れていた。疲れが取れたら下山開始し、往路を戻って八海山神社を目指す。

急な下りは滑りやすく、ロープや木の根を頼りに慎重に下って行く。新人のU竹さんの腰が引けて足取りがおぼつかないので、下りの足の置き方を教えながら下って行く。すぐに下りに慣れて上手に下れるようになり、会話出来るようになった。無事八海山神社まで戻り、B班の2名と合流してランチタイムとなる。お湯を沸かしてカップ麺やスープを作り、おにぎりやパン、お惣菜を美味しくいただいた。



ダケカンバの淡い緑を見ながら美味しくいただいていると、雨が降り出してきた。すぐに止むだろと思ってそのまま食べていたが、だんだん強くなりレインウェアの上衣を着る。急いで後片づけして下山開始すると、まもなく雨は上がってくれた。下山は林間コースを下り、晴れ間が出て来て無事に大間々台駐車場に戻った。靴を履き替えたなら車に乗り帰路につく。道の駅「やいた」に寄って野菜やお花を買い、予定通り栃木市運動公園へ帰着した。

